

令和3年度第2回さいたま市公共事業評価審議会 摘録

- 1 開催日時 令和4年1月28日(金) 10時～11時20分
- 2 開催場所 ときわ会館5階 小ホール(オンライン会議)
- 3 出席者 委員 久保田会長 伊藤(史)委員 桑田委員 小池委員 持田委員  
八木澤委員  
さいたま市 建設局 原田理事  
都市局都市計画部都市公園課 麻生参事兼課長 外3名  
都市局都市計画部みどり推進課  
秋谷課長補佐兼係長 外2名  
都市局まちづくり推進部市街地整備課 藤原課長 外2名  
建設局建築部建築総務課 尾里係長 外1名  
建設局土木部河川課 竹越課長 外2名  
建設局土木部道路計画課 小峰課長 外2名  
事務局(建設局技術管理課) 高橋参事兼課長 外4名

4 議 事

(1) 議案審議

- [事後評価] さいたま市における緑の保全と創出(第2期)
- [事後評価] さいたま市の安全・安心な都市づくり(防災・安全)
- [事後評価] さいたま市における安全・安心な居住環境の整備(第二期)(防災・安全)
- [事後評価] さいたま市における浸水対策の解消を図る治水対策の推進(防災・安全)
- [事前評価] さいたま市無電柱化推進計画(都)道場三室線(栄和工区)外1路線

(2) その他

5 傍聴者 1名

6 議事内容

(1) 議案審議

- [事後評価] さいたま市における緑の保全と創出(第2期)

都市公園課	[都市公園課より説明 資料1]
桑田委員	<p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に全ての取組を進めていて、目標値をクリアしており問題はない。そのなかで身近な公園の整備率において、令和元年度末の最終実績</li> </ul>

都市公園課	<p>値が 87.8%となっているが、不足している約 12%について、重要と認識している場所を伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、市内に 11 箇所ほど公園が不足している緑が薄い地域がある。こういった地域を解消していくことが今後の課題と考えており、公園用地に適した場所の調査、あるいは生産緑地の動向などを見極め、用地を確保する方針である。</li> </ul>
桑田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が不足している箇所が 11 箇所あり、引続き緑を増やす取組みを進めていくということによいか。</li> </ul>
都市公園課 持田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。</li> <li>・指標 3（まちなかに緑や開放的な空間が感じられ、快適な生活ができていると感じる市民の割合）について、令和元年度末の最終実績値が 59.3%で目標としては達成しているが、不満度は 40%あり、市としてこの状況をよしとするのか。</li> </ul>
都市公園課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず目標の設定について、平成 26 年度に総合振興計画の後期基本計画に係るアンケート調査を実施しており、平成 32 年度の目標値を 60%とした。その間の増減を加味し、令和元年度末の目標値を設定した。</li> <li>・ご指摘のとおり、6 割の方は満足しているものの、本市において特に駅周辺の緑が不足していることは課題として認識しており、より多くの方に身近に緑を感じていただけるように取組を進めていきたいと考えている。</li> </ul> <p>(意見等以上)</p>
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの、『さいたま市における緑の保全と創出（第 2 期）』について、市の事業評価（案）に対して審議会として特段の意見はなしでよいか。</li> </ul>
委員	<p>(意見なし)</p>
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>

〔事後評価〕 さいたま市の安全・安心な都市づくり（防災・安全）

市街地整備課	[市街地整備課より説明 資料 2]
桑田委員	<p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様式 2 の 1 ページ、II 定量的指標の達成状況のうち、指標①の目標値と実績値に差が出た要因で、前年度に目標値を達成しているため、一旦は指標を達成したという記載に修正したほうがいいのか。</li> <li>・また、今後の方針で、「引き続き土地区画整理事業を推進していく必要</li> </ul>

市街地整備課	<p>があり」との記載があるが、一方で、権利者との協議による遅延が生じたことから、その点を今後アプローチしていく記載があるとよいと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指標①及び今後の方針の記載について、いただいたアドバイスをもとに修正を加えたい。</li> </ul>
小池委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の方針について、今後も今回設定した指標①～③を目指して事業を進めていくのか。指標①については、コロナの関係があつて駅の乗降客数が減っている状況であり、また、事業との関連性、例えば駅前がきれいになる、道路が整備されることで、周辺に住んでいる方が必ずしも駅の利用増につながる関係性がわからなかった。</li> </ul>
市街地整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標①～③については、今回の社会資本総合整備計画事業において6つの要素事業を実施したが、令和3年度からは別の計画に位置付け、社会資本整備総合交付金を活用している。</li> <li>駅の乗降客数の増加と事業との結びつきの点については、今回位置付けている土地区画整理事業が全て鉄道駅周辺となっている。土地区画整理事業の目的は、公共施設の整備・改善、宅地の利用増進を図ることであり、周辺宅地の増加による人口の増加の結果、駅の乗降客数も増加するのではないかと、今回の計画を立てた平成27年度に考えたものである。</li> </ul> <p>(意見等以上)</p>
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただいまの、『さいたま市の安全・安心な都市づくり（防災・安全）』について、様式2（公共事業評価調書）を修正することで、市の事業評価（案）に対して審議会として特段の意見はなしでよいか。</li> </ul>
委員	<p>(意見なし)</p>
久保田会長	<p>本件の審議は以上。</p>

〔事後評価〕 さいたま市における安全・安心な居住環境の整備（第二期）（防災・安全）

建築総務課	<p>[建築総務課より説明 資料3]</p>
桑田委員	<p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドの4枚目の建物について、耐震性不十分住宅戸数が平成27年度約51,800戸から令和2年度に約39,700戸になったが、共同住宅の場合には、1棟で10戸あった場合には、10戸でカウントしているのか。</li> </ul>
建築総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同住宅の場合も、戸数でカウントしている。</li> </ul>

	(意見等以上)
久保田会長	・ただいまの、『さいたま市における安全・安心な居住環境の整備（第二期）（防災・安全）』について、市の事業評価（案）に対して審議会として特段の意見はなしでよいか。
委員	(意見なし)
久保田会長	・本件の審議は以上。

〔事後評価〕 さいたま市における浸水対策の解消を図る治水対策の推進（防災・安全）

河川課	[河川課より説明 資料4]
	《質疑応答》
八木澤委員	・スライドの7枚目、定量的指標の達成状況について、今回、3事業を実施しているが、3つの事業を合せて評価したものなのか。
河川課	・今回新川のみ護岸工事を実施したため、1事業で達成状況を評価している。
八木澤委員	・定量的指標以外でアンケート調査を実施しているが、そのなかで「自然災害が少ない」という聞き方をすると、自然災害には地震なども含まれるので、浸水被害そのものには直結しないのではないかと。
河川課	・質問項目としては、市民意識調査において自然災害という聞き方をしているため、浸水被害を含めた形で回答いただいていると考え、効果の発現状況として捉えた。
	(意見等以上)
久保田会長	・ただいまの、『さいたま市における浸水対策の解消を図る治水対策の推進（防災・安全）』について、市の事業評価（案）に対して審議会として特段の意見はなしでよいか。
委員	(意見なし)
久保田会長	・本件の審議は以上。

〔事前評価〕 さいたま市無電柱化推進計画（都）道場三室線（栄和工区）外 1 路線

道路計画課	[道路計画課より説明 資料 5]
持田委員	<p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益分析における走行時間短縮便益の算出方法を教えていただきたい。</li> </ul>
道路計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行時間短縮便益の算出の考え方について、道路の整備あり、整備なしで比較したものになる。具体的には、整備ありについては、この道路を整備したときに、市内の道路を走行するのにどれだけ時間が短縮できるか、それに対して整備なしについては、整備されないことによって市内の道路を走行するのにどれだけ時間がかかるか、その差額を示して費用便益とするものである。</li> </ul>
持田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方はわかるが、今回の 2 路線がともに 118 億円になっている。積上げについて教えていただきたい。</li> </ul>
道路計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 路線の金額が同額なのは偶然の結果であり、それぞれ算出の方法は、国の費用便益分析マニュアルによる算出式で算出している。具体的には、先ほどの整備あり・なし、それぞれの時間短縮の原単位というものがああり、それに対して交通量をかけたものが便益となる。整備あり・なしの差額を走行時間短縮便益として算出している。</li> </ul>
持田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞等の交通量をどう見込むかが重要になると思うが、所管課でどのように見込むのか。</li> </ul>
道路計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、渋滞箇所においてバイパスを整備した場合、渋滞箇所からバイパスに転換されることを見込み、計画交通量を算出する。バイパスに交通が転換されたことで、従前の渋滞箇所が緩和され走行速度が上がるのが便益となる。</li> </ul>
久保田会長 桑田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量予測という手法を使用していると認識している。</li> <li>・事業としては無電柱化推進事業ということだが、（都）道場三室線では事業費 94 億円というのは道路拡幅も入った費用なのか。</li> </ul>
道路計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備全ての費用を計上しており、無電柱化する工事費をはじめ、道路を拡幅する車道・歩道の整備費、用地買収費、設計費用等が含まれている。</li> </ul>
桑田委員 道路計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化しなかった場合の費用はどのくらい差が生じるものなのか。</li> <li>・無電柱化に要する費用は算出していないため、概算金額になるが、1 m あたりの電線共同溝の費用が 30 万円と想定し、今回、（都）道場三室線では 1.4km の両側を整備するため、<math>1.4\text{km} \times 2 \times 30\text{万円} = 8.4\text{億円}</math>が電線共同溝を整備する費用となる。</li> </ul>
桑田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の概ね 10%ということがわかった。その数値があると無電柱化の推進に関する議論がしやすいと思った。</li> </ul>
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化されていない道路を無電柱化するのであれば、費用を切り取り</li> </ul>

	<p>やすいが、これから整備する（都）道場三室線などの歩道幅員がある道路では、無電柱化されない道路として整備することはなく、無電柱化だけを切り取って費用を算出するのは難しいため、今回のような形で費用を出さざるを得ないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、無電柱化だけの便益を算出するのは難しいこともあり、道路事業全体の費用便益で評価をせざるを得ないところではないかと補足させていただく。</li> </ul> <p>（意見等以上）</p>
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの、『さいたま市無電柱化推進計画（都）道場三室線（栄和工区）外1路線』について、市の事業評価（案）に対して審議会として特段の意見はなしでよいか。</li> </ul>
委員	（意見なし）
久保田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>

(2) その他（議事録の確認について）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の審議会の議事録は、久保田会長より指名した、持田委員及び八木澤委員が事務局で作成する議事録を確認することで了承。</li> </ul>
--	---